

**DAISHINKU
CSR REPORT
2016**

信 頼

私たちは経営理念である

“世界中すべてのお客様に「信頼」でお応えする。”を礎として、
誠実かつ公正な事業活動による持続的成長を通じて
継続的な利益の創出と社会貢献を実践し、
企業価値を向上させるとともに、
持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。



「ものづくり」を極める

私たち大真空はエレクトロニクス社会の発展に貢献したいとの思いから、「想像と創造」というものづくり精神を掲げ、研究開発を行ってまいりました。お客様の満足度をより高めるため「より良い製品をより安くより早く」をモットーに、これまでに培ってきた製造技術やノウハウを活かし、さらなる進化を目指しています。

技術スキルの習得や製造ノウハウの継承、異なる部門間での相互理解や知識の向上、人材交流などに活用するため、2014年に国内のメイン工場である鳥取事業所の敷地内に研修所を建設しました。

また、環境保全活動を重要な経営方針の一つと捉え、水晶デバイスの開発、製造、販売などすべての企業活動領域において、環境負荷物質削減などの「製品の環境配慮」、地球温暖化防止や廃棄物削減などの「事業活動での環境配慮」、各拠点における地域貢献活動の「コミュニケーション」、グループ内環境経営体制の構築や環境教育などの「環境経営」を四つの環境ビジョンとして定めており、地球環境保全に対する取り組みを推進しています。

「ひとづくり」を極める ～「人材」から「人財」へ～

真のグローバル企業として継続的に発展するため、「健康経営の推進」や「多様な人材の採用・活躍の推進」などを基盤とした、「人財マネジメント」に積極的に取り組んでいます。国籍・人種・性別などを問わず、一人ひとりの能力を発揮できる環境を提供するとともに、独自の教育プログラムにもとづき自助自立・自己完結を基本として行動できる「人財」を育てています。また、経営理念の共有や各拠点とのより強固なコミュニケーションを醸成するための橋渡し役となる「ブリッジ人財」の育成にも注力しています。

一方、自己啓発プログラムによる個々のキャリア形成のサポート体制も充実させており、教育／育成と合わせ活躍するフィールドをさらに広げることで、めまぐるしく変化する環境や市場ニーズにお応えしてまいります。

ステークホルダーのみなさまへ

1959年の創業以来、私たち大真空は「信頼される人」「信頼される製品」「信頼される企業」という三つの「信頼」の理念のもと、高度化する時代のニーズに応える製品づくりに励んでまいりました。これからもCSR活動を通じてステークホルダーのみなさまとコミュニケーションを深めながら、新たな価値を生み出し、持続可能な社会の実現に貢献し続けることができる企業を目指してまいります。

代表取締役社長 長谷川宗平

CSR報告書 発行に あたって

大真空は2014年まで「環境報告書」を発行してまいりましたが、環境だけでなく労働、人権、顧客、品質、社会貢献など企業価値の向上と、持続可能な社会の実現に向けての取り組みをステークホルダーのみなさまと共有したいと思い、「CSR報告書」としてまとめました。

本報告書を通してステークホルダーのみなさまに私たちのCSR活動についてご理解いただくとともに、今後のCSR活動の参考にさせていただきたく、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

対象期間

2014年4月～2016年3月の活動を中心に作成しています。
(当該期間以前もしくは以後の活動も報告内容に一部含まれています。)

目次

トップメッセージ	1	お客様とのかかわり	12
CSR報告書発行にあたって／ 目次／会社概要	3	お取引様とのかかわり	15
水晶デバイスについて	5	社員とともに	17
大真空グループのCSRについて	7	環境とのかかわり	19
コンプライアンスについて	9	株主・投資家のみなさまへ	24
コーポレートガバナンスについて	11	地域社会とのかかわり	25

会社概要

商号：株式会社 大真空

本社所在地：兵庫県加古川市平岡町新在家 1389

業種：電子部品および電子機器の製造販売

創業：1959年11月3日

設立：1963年5月8日

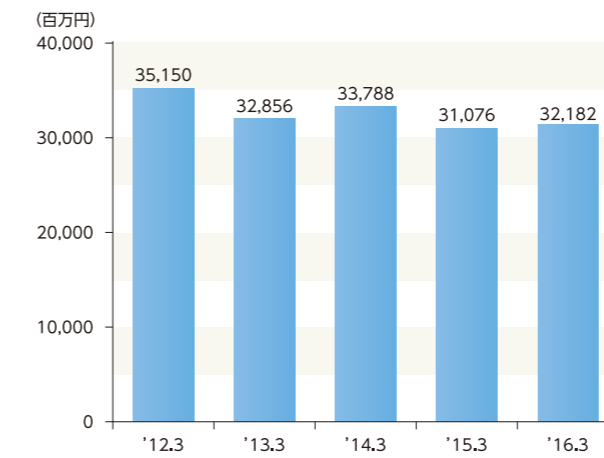
代表者：代表取締役社長 長谷川 宗平

資本金：193億44百万円

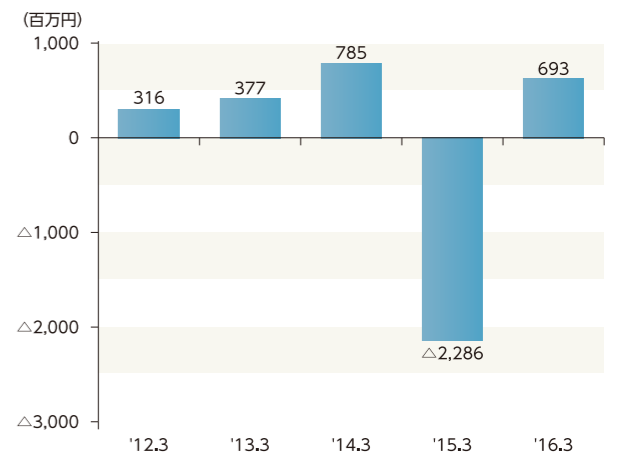
従業員数：単体 688名 連結 4,379名(2016年3月31日現在)

業績の推移

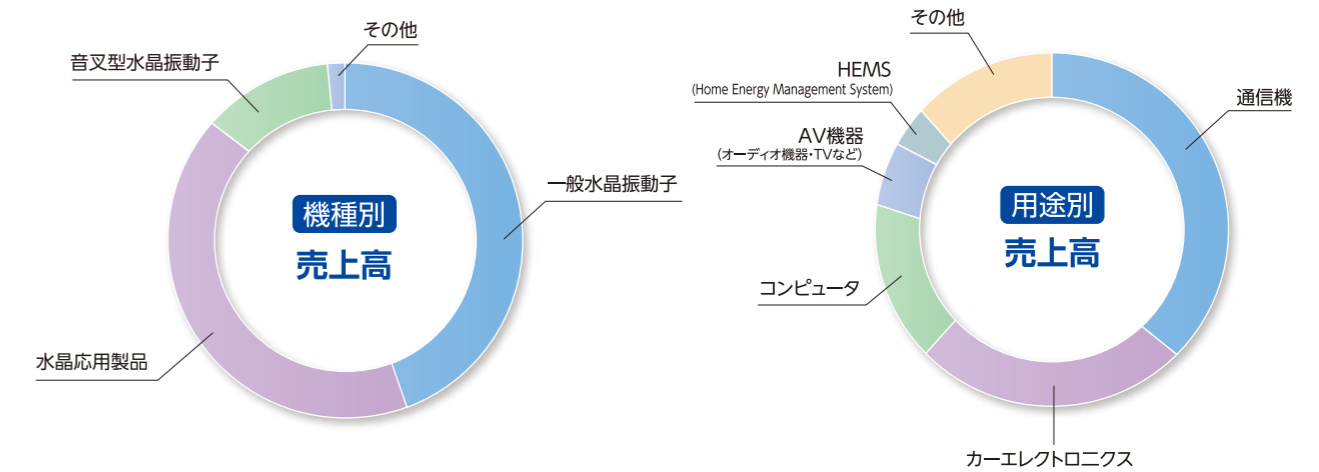
売上高



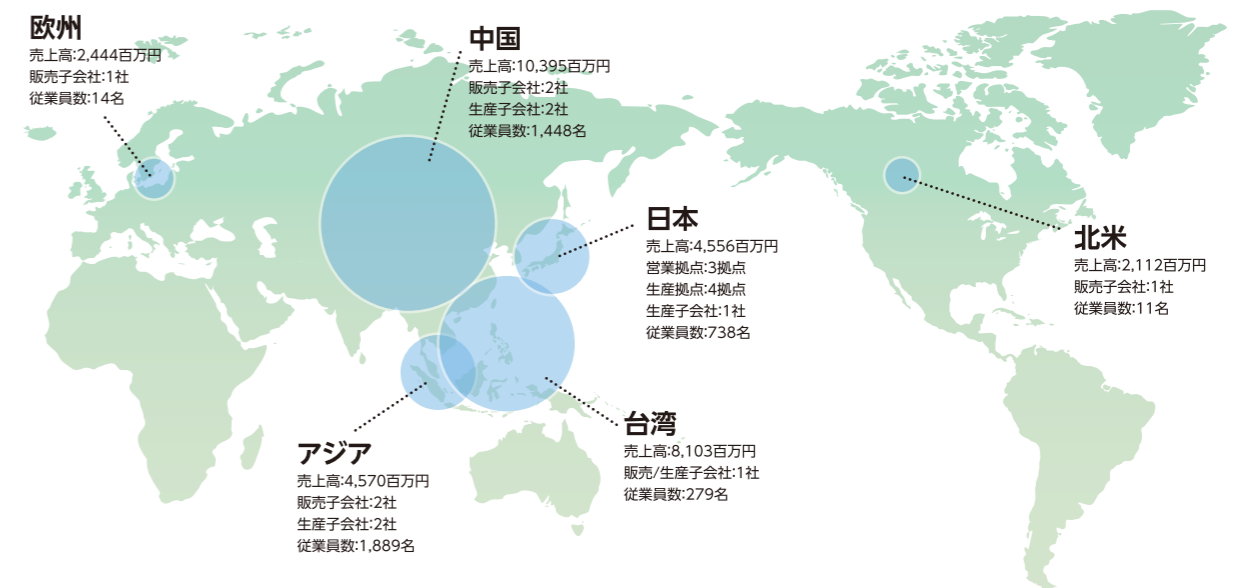
営業利益



販売の状況



地域別の状況



※業績の推移、販売の状況、地域別の状況は2016年3月期連結決算より

水晶デバイス について

「より良い製品をより安くより早く」をモットーに、常に高い品質を維持する水晶デバイスを安定的に供給する効率的な生産システムを構築しています。高純度な人工水晶の育成から、切断、研磨、そして製品の組み立て工程まで一貫した生産体制により、世界中のお客様のニーズに迅速にお応えしています。



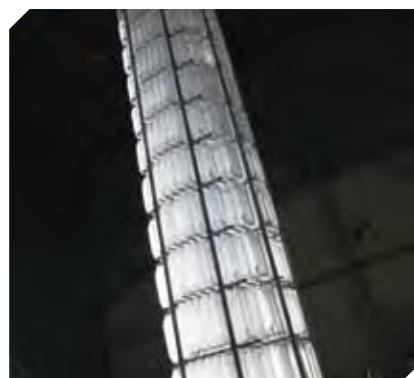
「水晶デバイスって何?」

水晶は圧力を加えると電荷を発生するという性質を持っており、「圧電現象」と呼ばれています。逆に、電圧をかけると変形する性質も持ってあり、「逆圧電現象」と呼ばれています。この逆圧電現象を利用して、水晶デバイスは規則正しい安定した信号を作り出し、私たちの暮らしを支えています。水晶デバイスは、スマートフォンなどの情報通信機器、ハイレゾオーディオなどのAV機器、自動車など、私たちの生活に身近な電子機器に使われています。例えばスマートフォンは世界中の人たちとコミュニケーションを取ることができ、いつでもどこに居ても欲しい情報を入手することができます。この便利なスマートフォンは、電波を使って音声や情報を送ったり受けたりしています。この電波のもととなる基準信号を正確に、安定して作り出している部品が水晶デバイスなのです。



水晶デバイスができるまで

1 人工水晶の育成



オートクレーブと呼ばれる直径650mm、高さ14mの巨大な圧力容器を用いて高温・高圧下で育成します。人工水晶は1日で0.5mm程度成長する様にコントロールし、2~3か月、長いものでは約6か月の期間を要します。

2 水晶片の加工



人工水晶を目的に応じた角度で切断し、目的の周波数に研磨していきます。一つの人工水晶は長辺:約20cm、重さ:約1kgですが、数回の切断、研磨を経て、小さいものでは長辺:約1mm、重さ:数十μgの水晶片が数十万枚切り出されます。

3 電極形成



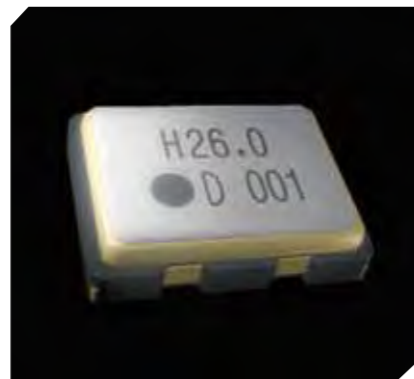
加工した水晶片に金や銀などの金属膜をナノレベルでコントロールしながら電極を形成します。この電極に電圧をかけ逆圧電現象により水晶片を振動させることができます。

4 水晶片の接着



電極を形成した水晶片を、温度や時間などを厳密に管理している導電性接着剤を使ってセラミックなどのパッケージに固定します。

5 封止



周波数の最終調整を行った後、電極の酸化などを防ぐため、真空や窒素雰囲気下で一つひとつ丁寧に封止します。

6 検査、梱包、出荷

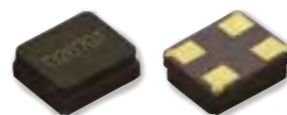


目的とする特性の規格を満たしているかなどを検査しますが、これらの検査は数十項目におよぶこともあります。厳しいチェックが行われ、合格した製品だけが梱包され、出荷されます。

製品紹介

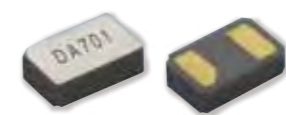
水晶振動子

温度特性が良好な高周波振動子です。パッケージの種類やサイズが豊富で幅広い用途に対応しています。



音叉型 水晶振動子

低消費電力の低周波振動子です。主に時計やあらゆる機器の時計機能に使われます。



水晶発振器

駆動ICが組み込まれた発振器モジュールです。一般水晶発振器 (SPXO)、電圧制御水晶発振器 (VCXO)、温度補償水晶発振器 (TCXO) などがあります。



水晶フィルタ

特定の周波数成分のみを通過させる周波数選択機能を持つデバイスです。無線通信機器に多用されています。



光学製品

水晶の複屈折性を利用したOLPFや波長板などの光デバイスです。誘電体多層膜を利用した分光特性の制御も可能です。



MEMS発振器

MEMS技術と回路技術を組み合わせ、振動部分がシリコンで形成された発振器です。パッケージサイズの小型化を得意としています。



"Slim × Small × Smart" Crystal (トリプルエスクリスタル)

近年、電子機器の小型化、薄型化、高性能化、高機能化が進んでおり、これらを構成する水晶デバイスにおいても同様のニーズが強くなっています。当社は、2016サイズ (2.0mm×1.6mm) 以下の水晶デバイス群である、"Slim×Small×Smart" Crystal (トリプルエスクリスタル) で、お客様の様々なニーズを実現し、電子機器の小型/高機能化に貢献してまいります。

大真空グループのCSRについて

「信頼」を合言葉に、すべてのステークホルダーを志向した創造的かつ効率的な経営を実現して、継続的に利益を創出するとともに社会貢献に努めます。

CSRコミットメント

三つの信頼

信頼される人

私たちは、自助自立・自己完結を基本として行動し、自分たちの持てる力を社会全体のために活用し、関係するすべての事柄に対して真摯な態度で取り組みます。

信頼される製品

私たちは、すべてのお客様に対して、持ち得るすべての力を集結して、常に最良の製品やサービスを創造し、全世界に提供することによって人々の豊かな生活の実現に貢献します。

信頼される企業

私たちは、法令およびその精神を遵守し、地球環境との調和を常に意識した企業活動を通じて、継続的な利益の創出による社会貢献を目指します。

三つの信頼を実践する行動基準

- 1 会社の経営方針、経営理念、経営施策を正しく理解認識し、個人の利害損失にとらわれることなく、会社や社会全体の利益を考えて行動します。
- 2 固定観念や慣行に支配されず、着想から課題解決まで一貫した論理的展開をします。
- 3 折衝や調整などを円滑に行うため、必要に応じて随時関係者と話し合いをしており、問題発生の際は誠意をもって解決にあたり良好な関係をつくりあげます。
- 4 困難な問題でも、相手の立場を理解しながらも、粘り強く方針を説得し、円滑に対処します。
- 5 環境適合の視点を常に忘れず、メインテーマの一つとした活動をとりまします。
- 6 いかなる場合でも、自信の裏づけと最後までやり通す気概をもって事にあたります。
- 7 人柄、人間的魅力が周囲から受け入れられ信用されるよう努めます。
- 8 良好な人間関係づくりに努め、時には他人の弱さをも受け入れる勇気を持ちます。
- 9 法令をはじめ諸規程さらには確立された社会規範も含めてあらゆるルールを遵守するとともに、情報の重要性を認識し情報セキュリティにも努めます。
- 10 社会の一員として常に良識ある行動をとりまします。

経営理念 世界中すべてのお客様に「信頼」でお応えする。

企業の継続的发展

持続可能な社会実現

CSRコミットメントの実践

継続的利益の創出と社会貢献をおこなう

..... 企業価値の向上

環境的側面・経済的側面・社会的側面

CSR activities

地域社会

大真空の事業活動

大真空行動基準

株主

取引先

従業員

お客様

大真空グループCSR行動規範について

大真空グループは、三つの信頼に則り、関係する法令の遵守および企業倫理を励行し、経営理念に適った企業活動を行うとともに、社会からの期待や要請に常に目を向け、信頼される企業を目指します。これを踏まえ、人権・労働、安全衛生、環境、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティ、安定供給、社会貢献において『CSR行動規範』(URL: <http://www.kds.info/company/csr/>)を定め、すべての役職員に対し周知および浸透を図り、誠実に実行しています。

I. 人権・労働

- I-1 人権の尊重・差別禁止
- I-2 児童労働/強制労働の禁止
- I-3 非人道的な扱いの禁止
- I-4 適正な労働条件・労働時間
- I-5 従業員の団結権

II. 安全衛生

- II-1 職場の安全衛生
- II-2 労働災害・労働疾病
- II-3 緊急時の対応
- II-4 施設の安全衛生
- II-5 身体的負荷のかかる作業への配慮
- II-6 従業員の健康管理

III. 環境

- III-1 環境への配慮
- III-2 環境マネジメントシステムの構築

IV. 公正取引・倫理

- IV-1 賄賂等の腐敗防止
- IV-2 反社会的勢力との関係遮断
- IV-3 契約の適切な履行
- IV-4 競争制限的行為の禁止
- IV-5 優越的地位の濫用の禁止
- IV-6 不適切な利益供与および受領の禁止
- IV-7 インサイダー取引の禁止
- IV-8 安全保障貿易管理
- IV-9 知的財産権の尊重
- IV-10 適正な情報開示
- IV-11 責任ある鉱物調達
- IV-12 不正行為の予防・早期発見

V. 品質・安全性

- V-1 品質マネジメントシステムの構築
- V-2 製品の安全性

VI. 情報セキュリティ

- VI-1 コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対する防御
- VI-2 重要情報の適切な管理
- VI-3 個人情報の適切な取扱い

VII. 安定供給

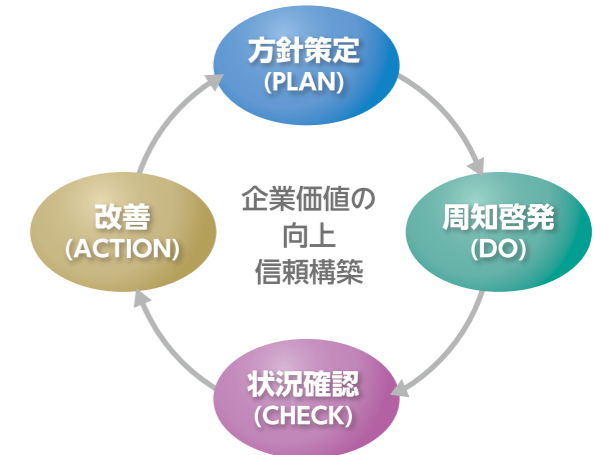
- VII-1 事業継続計画(BCP)

VIII. 社会貢献

- VIII-1 地域社会等への貢献

「CSR行動規範セルフチェック」の実施

CSRの推進には、従業員一人ひとりが「CSR行動規範」を理解し、これらに則った行動をすることが必要と考えています。各種社員教育などにより従業員への周知や意識向上(周知啓発)に努めており、さらにCSRに対する従業員の意識を醸成し、浸透・定着を図るため、従業員を対象としたセルフチェックシートによる調査「CSR行動規範セルフチェック」を定期的の実施しています。その実施結果は社内に公表(フィードバック)するとともに、「CSR行動規範」の理解度や実践状況の振り返り、さらなる施策の改善・充実に活用しています。



社員の声

総務課 丸山 美紀

全従業員を対象としたCSR行動規範セルフチェックを2015年2月から4月にかけて初めて実施しました。独自のチェックシートを作成し、実施にあたってはセルフチェックの目的を従業員へ理解してもらうため国内拠点を直接まわり説明を行いました。

CSRに対する理解を深め、理想とのギャップを埋める取り組みとして、今後も定期的に行ってまいります。



コンプライアンスについて

社会からの期待や要請に適應する コンプライアンス経営を徹底します

大真空グループでは、企業が社会的責任を果たし企業価値を向上させるためには、コンプライアンスの徹底が必要不可欠なものと考えています。

関係する法令や社内規程を遵守することはもとより、社会からの要請や期待に適った企業活動を行います。

また、従業員一人ひとりが誠実かつ公正な事業活動を行い、社会から信頼され企業の継続的な発展および持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指していきます。



コンプライアンス教育の実施

コンプライアンス経営の基本となる法律知識やビジネスシーンにおける健全で実践的な判断基準を有する人材の育成が、コンプライアンスをより効果的に推進していくために重要であると考えています。

コンプライアンスの重要性を従業員へ周知し、さらなる意識と知識向上のためコンプライアンス教育を会社の人財育成プログラムに盛り込むなど、様々なかたちでコンプライアンス教育を実施しています。入社時教育や上位等級昇格時、管理職登用時など、グループディスカッションなどを盛り込んで各等級に応じた階層別での教育、毎年各拠点を回り、全従業員を対象としたコンプライアンス説明会などを行っています。

情報セキュリティの確保

事業活動を正常かつ円滑に行う上で、情報セキュリティの確保は最重要課題の一つであり、社会的な要請は今後も一層高まっていくものと考えています。信頼される企業であり続けるために、情報資産の保護を目的とした「情報セキュリティ基本方針」や各種社内規程を定めています。各種情報の適切な取り扱いに向けたルールやシステムの整備と改善、定期的な情報セキュリティ自己点検チェックの実施や教育など社員への啓発活動の充実に努め、適正な情報の管理徹底に取り組んでいます。

インサイダー取引防止の徹底

株式の信頼を損ない、かつ、深刻なイメージダウンに繋がるインサイダー取引は、上場会社のコンプライアンス上極めて重要な問題であると認識しており、インサイダー取引の未然防止に努めています。

株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のため、会社情報の適時適切な開示、適切な内部情報の管理に努めています。「インサイダー取引防止規程」の制定、入社時研修や月例会を利用した各拠点での教育など、インサイダー取引防止のための継続的な活動に取り組んでいます。

安全保障貿易管理の取り組み

国際的な平和および安全の維持、国際収支の均衡維持ならびに外国貿易および国民経済の健全な発展を目的に定めた「外国為替及び外国貿易法」などの輸出入関連法規を遵守し、顧客および社会から信頼される企業を目指します。輸出関連法規遵守のための社内規程「輸出規制管理規程」を制定し、経済産業省に届出するとともに、当該規程の運用に関して内部監査部門による定期的な監査の実施や関連する部門に対する教育を実施するなど、安全保障貿易管理の徹底に努めています。

反社会的勢力排除の取り組み

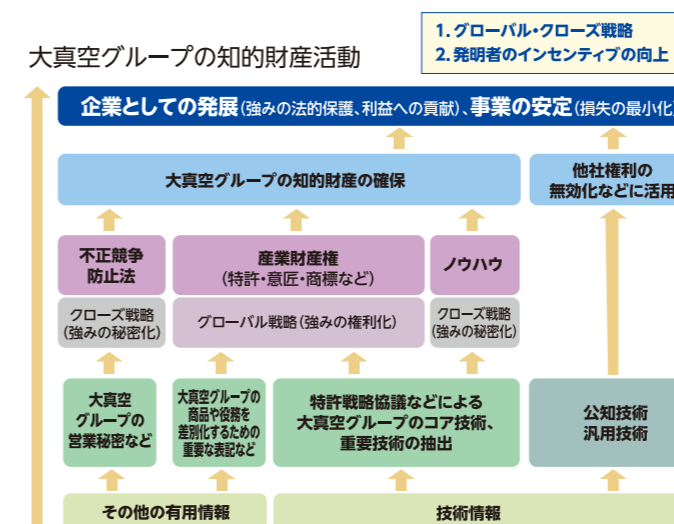
法令や社会的な規範に則した企業活動を推進しており、反社会的勢力との関係を持ちません。社会的な正義を実践するため「内部統制基本方針書」や「CSR行動規範」に反社会的勢力に対しては毅然とした対応を行うよう規定しており、従業員に周知しています。また、日頃より警察などの関連機関から情報の収集に努め、事案が発生した場合も同じく警察や法律事務所などの外部専門機関と連携して対応します。

内部通報制度

コンプライアンス経営の徹底において、法律違反など不正行為の未然防止と早期発見が重要であり、企業内部での自浄作用を発揮させることが必要と考えています。そのための重要な手段として内部通報制度を設置しており、通報窓口・相談窓口を整備し、通報の受付、調査の実施、是正措置の実施、通報者に対する解雇・不利益取扱いの禁止、フォローアップなど「内部通報規程」を制定したうえで、これを適切に運用しています。

知的財産権の尊重

大真空グループでは、企業として発展し事業を安定して継続していくために知的財産活動が必要不可欠なものと考えております。知的財産は重要な社内の財産であることを認識し、事業展開に応じた積極的な知的財産活動を推進しています。大真空グループの知的財産のうち、特に権利化を目指す知的財産権については、事業展開に応じてグローバルな対応を進めるグローバル戦略と、製造ノウハウなどの有用情報を秘匿化するクローズ戦略とを使い分けた知的財産活動を推進しています。このような知的財産活動の一環として、特許戦略協議や社内教育を行い、知的財産の創出強化と知的財産管理体制の構築を進めています。また知的財産管理規程を整備することで知的財産の管理を明確にするとともに、各種発明表彰・特許表彰を充実させて発明者のインセンティブ向上にも努めています。さらに、第三者の知的財産権を侵害しないよう、監視システムを構築しています。



コーポレートガバナンスについて

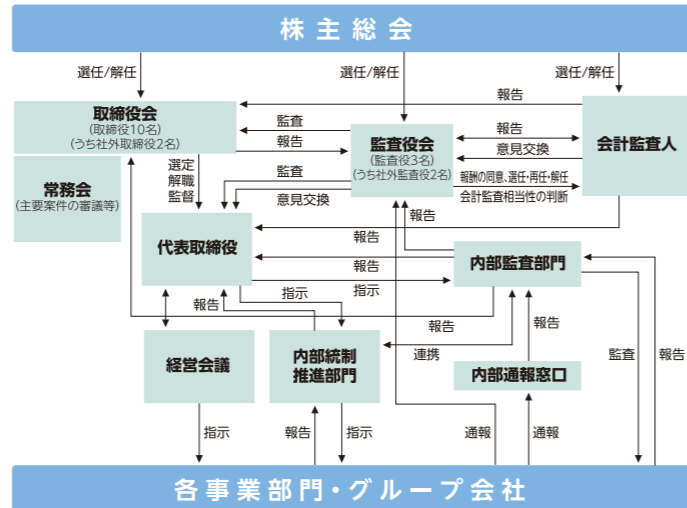
経営環境の把握や経営環境の変化に迅速かつ的確に対応できる意思決定と適法かつ妥当な業務執行が可能な経営体制およびステークホルダーに対して公正で透明性を高めた、国際競争力のある経営を目指します。

企業活動を支えているすべてのステークホルダーの利益を重視し、かつ長期的・継続的な株主価値の最大化を実現するため「企業価値の向上」に力を注ぐと同時に、社会的に信頼される企業を目指して「コーポレートガバナンスの強化」が必要と考えています。なお、当社のコーポレートガバナンス体制を明確にし、実効的なコーポレートガバナンスを実現させることを目的に、「大真空コーポレートガバナンスガイドライン」(URL:<http://www.kds.info/investors/management-policy/corporate-guideline/>)を制定しています。

コーポレートガバナンス体制

経営上の基本方針・重要事項の決定機能および代表取締役の職務執行の監督機能としては、会社からの独立性と財務・会計・法律の分野において専門的知見を有している社外取締役複数名を含む取締役会を、取締役の職務執行の監督機能としては監査役・監査役会をそれぞれ経営体制の基本としています。

また、監査役につきましては、取締役会その他重要な会議に出席し、独立・中立的立場から適切な意見を述べることで経営監視の実効性を図っています。さらに会計監査人を設置し、会計に関する正しい経営情報を提供し、公正不偏な立場から監査が実施される環境を整備しています。



社外取締役メッセージ

私に課せられた任務は、独立性と透明性の高い監視を行い、慣習などに縛られない新たな発想や理念を経営に取り入れることができるようにすることです。当社の状況や課題、そしてそれに対する対応をよく理解したうえで発言をしていくことに努めておりますが、同時に株主や顧客の意見を代弁するため、あえて素人目線で当社を客観的に見ることも大切にしております。

私ども社外取締役がしっかりと機能することが信用に繋がります。会社の発展に繋がっていくものと思いますので、重責を認識し、緊張感をもって職務にあたりたいと考えております。

小寺 利明

私は、弁護士として種々の紛争解決に携わってきた経験を活かし、法的観点からリスク管理を十分注視するとともに、裁判官在職時に培った公正妥当なものを見方をも活かし、経営の監督責任を果たしたいと考えています。

また、社外取締役として、社外の立場だからこそ言える率直な意見を述べるとともに、取締役会での自由闊達な議論を通じて、企業価値の向上に貢献できるよう、微力ながら全力で取り組む所存です。

今後とも当社に対する絶大なご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

飯島 敬子

お客様とのかわり

大真空グループは、「顧客第一優先の徹底」をもとに、お客様や市場に信頼される製品の提供に努めています。品質マネジメントシステムを活用し、製品品質の向上に取り組むとともに、お客様との対話を通じていただいたご意見やご要望に対して真摯に対応し、顧客満足度の向上に取り組んでいます。

品質経営

品質理念

顧客第一優先の徹底

大真空の提供するすべての品質はお客様のためにあります。大真空は以下のスローガンのもと、常に顧客の品質ニーズに適合する活動を進めます。

スローガン **よりよい製品を より安く より早く より安全に**

法令、規制、顧客要求の遵守

大真空は、法令、規制要求事項を遵守し、顧客要求事項に100%適合する製品づくりに取り組みます。

三つの品質



仕組みのQuality

品質の国際規格であるISO9001 & ISO/TS 16949 に適合させた Quality Management System による継続的な品質改善活動

技術のQuality

過去の失敗から学んだ設計管理技術を継続的に向上させるとともに、信頼性試験に基づく不良発生の未然防止活動、予防処置に重点をおいた品質改善

人のQuality

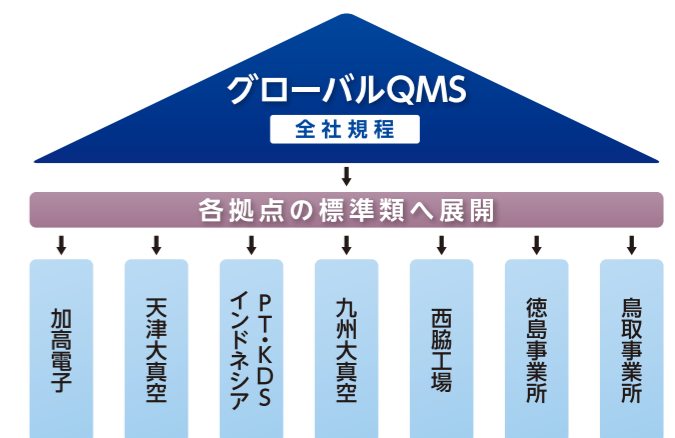
ものづくりの基本はひとづくりであり、QMS活動を通じて高い品質意識をもった人材の育成に注力

品質マネジメントシステム

品質マネジメントシステム(QMS:Quality Management System)は、製品品質に関する顧客満足度の向上に必要な国際規格となっています。大真空グループでは、海外生産拠点を含むすべての生産拠点で、ISO9001の認証を取得しています。

また、自動車業界向けの製品を生産している生産拠点は自動車産業のセクター規格であるISO/TS16949の認証を取得しており、品質マネジメントシステムを活用した製品品質の向上に取り組んでいます。

ISO認証取得状況はHPで公開しています。(http://www.kds.info/product-support/iso-certificate/)



QCサークル活動と提案活動の推進

大真空グループでは、職場で働く人々が継続的に製品・サービス・仕事などの質を高めるために日々改善を行う小集団活動(QCサークル)に取り組んでいます。活動の成果は、創業記念行事においてQCサークル成果発表会を開催する他、異業種交流発表大会にもQCサークルの選抜チームが参加し、社外との交流を通じて、様々な知識を取り入れ、より良い製品の創出に繋がる活動に努めています。また、従業員一人ひとりの創意工夫を提案活動として取り組み、会社全体の省力化、高能率、合理化など、経営改善の促進を図っており、提案活動を通じて従業員の改善意欲の醸成に努めています。

こうした活動を通じて、顧客満足度向上に繋がる品質改善や迅速な対応力の向上を図っています。



▲創業記念行事での発表

▲QC大会の授賞式

展示会への出展

第2回ウェアラブルEXPO・electronica2016

東京ビックサイトで開催された第2回ウェアラブルEXPO(2016年1月13日～15日)およびMesse München(ドイツ)で開催されたelectronica 2016(2016年11月8日～11日)に出展しました。

トリプルエスクリスタルやMEMS発振器などを中心に展示し、多くの方々に当社ブースに会場していただきました。今後も展示会を通し、お客様との繋がりを深めてまいります。



▲electronica 2016

◀第2回ウェアラブルEXPO

お客様との信頼関係向上

取締役 プロダクト本部長 飯塚 実



私たち大真空グループは、メーカーとしての基本ではありますが「QCD」の強化をとても大切にしています。満足いただける「QCD」を提供し、お客様との信頼関係向上に繋げることが企業としての使命の一つと考えています。

生産ライン/生産システムは常に進化させていかなければいけません。これらの進化による「QCD」の強化は企業として大きな武器になります。近い将来、水晶タイミングデバイスは大きな転換期を迎えようとしています。この転換期は、生産ライン/生産システムの進化にとって好都合となるはずですが、進化に向けた準備は着々と進行していますが、必ずお客様にも満足していただけるものになると「わくわく」しています。

生産ライン/生産システムを動かすのは「人」です。「人」を育てる人財教育の場として、生産革新活動や新製品立ち上げのモデル工場である鳥取事業所の敷地内に研修所を建設しました。この研修所を核にして、「わくわく」できる生産革新活動や生産ライン/生産システムの進化などを共有してまいります。その結果、お客様に満足いただける「QCD」を提供できるよう努めてまいります。

鳥取事業所の生産革新活動

鳥取事業所 川上 浩司



鳥取事業所では2005年5月度より「QCDで水晶業界世界一を目指そう」をスローガンに生産革新活動をスタートさせました。鳥取事業所が一丸となり、お客様に満足いただけるものづくりを究めるべく生産部門、間接部門を問わず全従業員が取り組んでいます。

①市場変化のスピードに追従できるものづくりを念頭に、品質工学*を活用しながら最適条件を見つけ、より安定したものづくりを目指しています。これにより小型化への対応、品質向上に効果がでています。

※高い品質と高い生産性を同時に実現するための具体的な技術方法論

②効率の良い生産を念頭に、ジャストインタイムの考えを外部講師の方にも指導いただきながら、標準作業化、ムダ取り、多能工化、見える化など様々な取り組みを行っています。これらの活動は小スペース化による移動時間の短縮や半端工数の改善などに繋がっています。

③人財育成としては「良い事は先人に学ぶ」ということで、書籍の購入から貸し出し、ムダエフ活動*を行い、「知る→解る→できる」を体験します。小さな効果の体験を積み重ねることで自己完結を促し、一人ひとりの行動が効果を目指す行動に少しずつ変わってきました。その結果、生産性向上となり効果が表れたことは大きな自信に繋がっています。

※無駄な作業や事柄などをカードに書き上げ提案する改善活動



〈生産性は約6倍になりました!〉



〈廊下に掲示し、事例の水平展開や社員のモチベーション向上に繋がっています。〉



鳥取事業所での「生産革新活動」の内容は海外を含めた各生産拠点にも展開していますが、今後は敷地内にある研修所を活用して各生産拠点からも研修への参加機会をさらに増やし、大真空グループの生産性向上に努めてまいります。これらグループ全体での活動が「信頼」、すなわちお客様の満足度向上に繋がるものと確信しています。

お取引先様との かかわり

大真空グループでは「信頼」を軸に、お取引先様と一体となって価値創造を行い、相互利益の創出を通して社会に貢献できるパートナーシップを築くことを目指しています。

大真空の購買基本方針

I. パートナーシップ

あらゆるお取引先様と良きパートナーシップを築き、相互理解と信頼関係の樹立・維持向上を図っていきます。

II. 開放・公正

国内外のすべてのお取引先様に対して、平等に開放し、自由な競争の原則にもとづいた機会の提供をいたします。

III. 社会的責任

コンプライアンス、品質、安全性、環境保全、安全衛生、人権、労働などに配慮し、社会に貢献できる役割を積極的に果たしてまいります。

サプライチェーン全体でのCSR活動

大真空グループでは、サプライチェーン全体でCSR活動を進めるため、購買基本方針の社会的責任をお取引先様に理解していただき、お取引先様においても、CSRIに配慮した活動をお願いしています。

サプライヤーとの 公正で良好な関係づくり

大真空グループでは、毎年主要取引先様をお招きして事業説明会を開催しています。

大真空グループの経営方針や、生産・製品戦略、市場・技術動向など、当社とお取引先様を取り巻く環境について説明し、パートナーシップの強化を図っています。

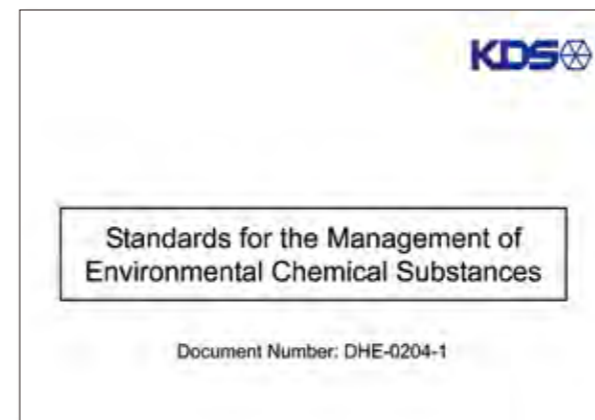
2016年3月は、37社62名のお取引先様の代表者に参加していただきました。



化学物質規制への対応

環境に配慮した製品を社会に提供するため、有害物質を含まない部品・原材料の調達に取り組んでいます。化学物質に関する規制は、欧州RoHS指令を始め、ELV指令、REACH規則など、世界各国で規制され、年々強化されています。大真空グループの要求事項を定めた「環境関連化学物質管理基準書」を制定し、お取引先様と連携を取りながら、グリーン調達を行っています。

2015年には
当社ホームページから
「環境関連化学物質管理基準書」と
品質関係の要求事項である
「部品品質保証マニュアル」が
ダウンロードできるように
なりました。



環境関連化学物質管理基準書



部品品質保証マニュアル

紛争鉱物に関する取り組み

2010年7月に可決された米国金融規制改革法により、コンゴ民主共和国(DRC)およびその隣接国で産出される、武装グループの資金源となる鉱物(金、タンタル、錫、タングステン)の調達関連情報を調査・開示することが求められています。

大真空グループでは、「コンゴ民主共和国(DRC)もしくはその隣接国の武装グループに直接または間接的に資金提供または利益供与する可能性のある鉱物の調達を回避し、これらの不使用に努めます。」という紛争鉱物に関する方針を掲げ、活動を実践しています。

当社では、サプライチェーンの川中企業として、業界共通の紛争鉱物報告テンプレートを用いて、お取引先様への調査依頼を行い、紛争鉱物に関する情報をとりまとめ、お客様への情報伝達を行っています。

2014年度、2015年度は国内・海外すべてのお取引先様への調査を行い、武装勢力の資金源となる「紛争鉱物」の使用がないことを確認しています。

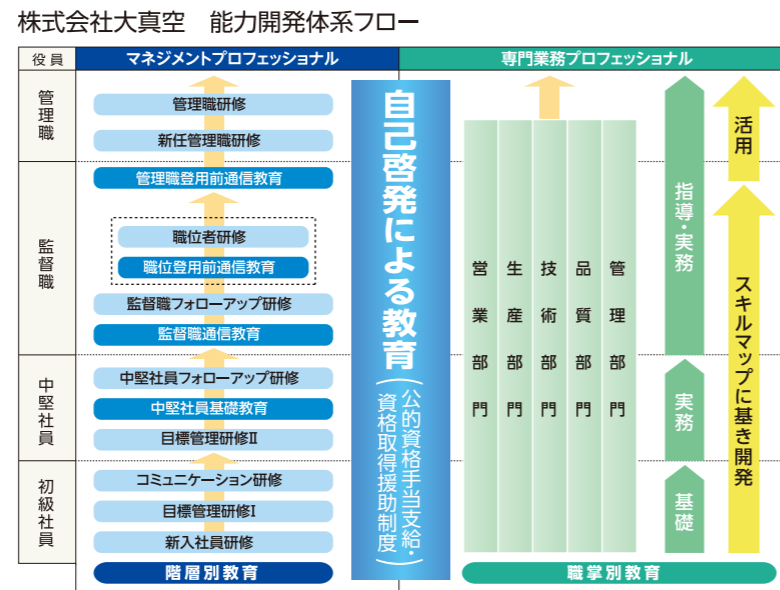
社員とともに

チャレンジする企業風土づくりと人財育成を目指して

目覚ましいスピードで進化する現代社会をリードし、より便利で快適な未来社会を実現するための一翼を担うべく、主体的に自己を高めることができる人財を育成し、よりレベルの高い仕事にチャレンジできるような仕組み創りと働きやすい職場創りに向け、弛まぬ努力を続けていきます。

人財育成の仕組み

マネジメントを基礎から体系的に学ぶ階層別教育、専門業務プロフェッショナルを育成するための職掌別教育という二つの柱があります。それらに加え、自己啓発（語学、専門学習など）の支援制度や資格取得を促進するための援助制度により、個々のキャリア形成のサポート体制も充実させています。「能力開発の主体は自身である」をコンセプトとし、受け身ではなく主体的に自己を高めることができる制度設計をしています。



多様な人財が活躍する会社を目指して

グローバル企業として、多種多様なニーズに応えるために、外国人の雇用も行き、積極的に様々な価値観、考え方を取り入れるようにしています。また、女性の活躍推進を図るために、社内では女性が働きやすい職場作りに取り組んでおり、平均勤続年数では女性が男性を上回っています。外国人従業員や女性従業員が、仕事にやり甲斐をもってその能力を十分に発揮できるような雇用環境の整備を行うとともに、今後のロールモデルとなる幹部候補者の育成を目指します。

社員の声



タイ出身で2016年に入社しました。通訳や翻訳など、海外とのコミュニケーションをサポートする業務をはじめ品質管理関係の業務に従事しています。

日本で働くのは初めてですが、入社時の研修で大真空の理念やコンプライアンスの重要性、さらには日本でのビジネスマナーについても学ぶことができ、スムーズに業務に就くことができました。毎週行われる勉強会や、実際に現場の製造工程を学ぶ機会もあり、知識や視野を広げ成長でき、新たなことにもチャレンジできる職場環境だと感じています。困った時にはともに考え、相談に乗ってくれる上司や職場の仲間にも恵まれ、とても働きやすい職場の中、やりがいのある充実したワーキングライフを送っています。

今後もグローバルに活躍できるこの大真空で、積極的にチャレンジし頑張っていきたいと思っています。

品質統制課 ウォンパン・スギッター

職場環境づくり

■ 自己申告制度

本人のキャリアに対する考えや自己啓発の取り組み内容を考慮し、新たな業務にチャレンジできる機会を設けています。

■ 育児・介護休業制度

法律を上回る制度を整備し、家庭と仕事の両立を支援しています。

育休の取得率、復帰率も高く、女性従業員も長期間働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

大真空グループ 育休取得率:100%
国内拠点における女性の 復帰率:100%

■ 社員表彰制度

功績をあげた社員を毎月表彰し、特に大きな功績については創業記念行事で表彰することで、モチベーションアップを図っています。中には入社2年目で表彰された従業員もあり、若手社員の活躍も目立ってきています。

社員の安全と健康を守る仕組み

■ 安全衛生委員会

法的に必要なない拠点においても、必要に応じて実施し、安全衛生の向上に努めています。

■ 従業員の健康管理

年1回の定期健康診断の中で、問題の見つかった従業員に対しては、産業医とも協力をしながら精密検査や治療を進めることにより、健康の維持増進を図っています。

■ メンタルヘルス・ストレスチェック

ストレスチェックは、法にもとづき毎年1回実施するだけでなく、その結果を分析し、業務負荷の平準化や従業員へのフォローを行い、心の安全と健康の維持増進を図っています。

トピックス

鳥取に研修所を新設

より一層の教育体制・キャリア開発体制を充実させるため、2014年4月には、宿泊施設を備え、合宿研修が可能な研修施設を竣工し、様々な研修を新たに実施しています。例えば、各部門社員が講師兼受講者として自部門の業務内容を語り、他部門の業務内容を聞き、部門関係の強化や人脈作りを行う研修や、自社製品の技術的な知識を高める、製造工程を理解する、そんな機会を再度設ける研修があります。

また、海外から技能実習生を受け入れ、最先端のものづくりを学ぶ機会を設け、ローカル幹部人財の育成にも取り組んでいます。

〈受講者の声〉

- 本社機能から生産まで、普段関わりの少ない業務を知ることができ、有意義な時間だった。
- 様々な部門の人との交流ができ、普段はメールや電話での接点しかなかった人に会うことができ、人的ネットワークが拡充した。
- 色々な話を聞き、自己の課題が明確になった。
- 生の現場力が伝わってきて、自分のモチベーションが上がった。
- 今回初めて説明する側に立って、自分の仕事を「わかっているつもり」でしかなかったことを思い知らされた。



環境とのかかわり

大真空グループ環境方針

環境理念

- ・社会貢献**
 大真空グループは環境と調和する環境保全活動を通して、持続的に発展可能な社会の創造に貢献します。
- ・法令、規制の遵守**
 大真空グループは法令・規制要求事項を遵守し、環境に配慮した商品開発に取り組みます。

方針

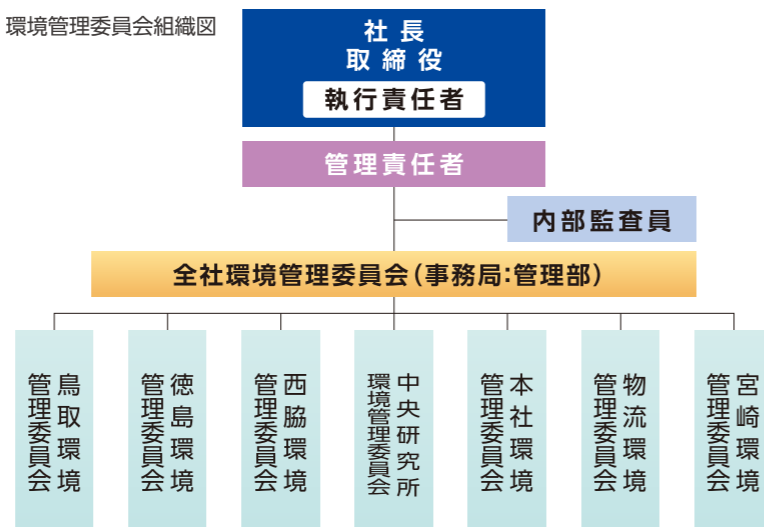
大真空グループは、製品の開発、製造および販売等に係わる企業活動すべての領域において、経営方針に基づき社内外から信頼される環境マネジメント活動を推進していきます。

- 環境負荷物質の適正管理と削減に取り組み、環境に配慮した省エネ・省資源に主体的に取り組みます。
- 資源の有効利用と環境汚染防止のため、廃棄物の発生抑制、再使用、リサイクルなど廃棄物の削減と適正処理に取り組みます。
- 地球温暖化防止のため、省エネルギー活動およびCO₂排出削減に取り組みます。
- コンゴ民主共和国(DRC)もしくはその隣接国の武装グループに直接または間接的に資金提供または利益供与する可能性のある鉱物の調達を回避し、これらの不使用に努めます。
- 環境に関する法律、基準、協定および当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- この環境方針に基づき環境目的および目標を設定し、活動を推進するとともに定期的な見直しを行ない、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 環境方針を全従業員および当グループの活動に従事するすべての人に周知し、教育訓練や啓蒙活動を通じて環境保全に対する自覚と意識の向上に取り組みます。
- 環境保全活動に関する情報を公開します。

組織の体制

環境マネジメントシステムを推進するために、拠点ごとに環境管理委員会を設置し、全社を統括する組織として全社環境管理委員会を設置しています。全社環境管理委員会では大真空グループにおける環境活動の方向性、活動実績について審議・決定を行い、PDCAサイクルを効果的に運用し、継続的な改善に努めています。

環境管理委員会組織図



内部環境監査

環境マネジメントシステムを効率よく運用していくうえでは、環境管理が適切に運用されているかを確認し、問題点を是正することが重要です。

大真空グループではマネジメントシステムのチェック機能として、内部環境監査を年1回実施しています。内部環境監査結果は経営層に報告され、有効性・改善点を審議し、環境マネジメントシステムの継続的改善に繋げています。

また、適切な内部監査を実施するために、内部環境監査員を養成し、社内資格要件を満たした者を選任しています。

ISO認証取得状況

大真空グループでは国際規格のISO14001の認証を取得しています。2000年の認証取得当初から国内拠点で統合した認証を取得し、大真空グループ全体でのマネジメントシステムの運用をしています。今後もISO14001に沿った環境マネジメントシステムを活用して、環境保全に取り組みます。

また、海外生産拠点である天津大真空有限公司、PT.KDS INDONESIA、加高電子股份有限公司においても、ISO14001を認証取得し、国内と連携を取りながら、環境保全活動に取り組んでいます。

環境負荷の現状

製品開発や設計、製造、販売それぞれの段階で、水、エネルギーおよび原材料など様々な地球上の資源を利用しています。事業活動に伴う様々な環境負荷を把握し、低減に努めています。

INPUT

エネルギー	電力	('14)	52,239 MWh
		('15)	50,303 MWh
A重油	('14)	1,213 kl	
	('15)	971 kl	
都市ガス	('14)	270,186 m ³	
	('15)	145,062 m ³	
灯油	('14)	4 kl	
	('15)	3 kl	
LPG	('14)	3,099 kg	
	('15)	3,249 kg	
用水	上水道水	('14)	79 km ³
		('15)	80 km ³
	工業用水	('14)	51 km ³
		('15)	57 km ³
地下水	('14)	172 km ³	
	('15)	136 km ³	
物化学	PRTR法対象物質	('14)	27,420 kg
		('15)	27,023 kg

OUTPUT

大気	CO ₂	('14)	37,079 t-CO ₂
		('15)	34,102 t-CO ₂
水系	排水	('14)	181 km ³
		('15)	198 km ³
廃棄物	発生量	('14)	839 t
		('15)	804 t
	処分量	('14)	510 t
		('15)	362 t
リサイクル量	('14)	329 t	
	('15)	442 t	
製品	水晶振動子		
	水晶発振器		
	水晶フィルタ		
	光学製品		

環境パフォーマンス

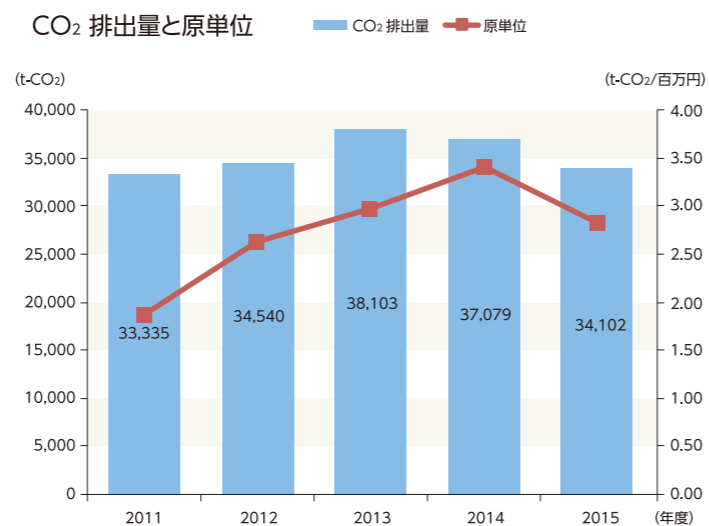
製品の設計から製造・販売までのプロセス全体を通じて、省エネルギー活動の推進による地球温暖化防止対策、廃棄物削減活動などに取り組んでいます。

地球温暖化の防止

大真空グループでは、二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガス排出量の削減活動を推進しています。

生産拠点では、設備のインバータ化や省エネルギータイプの空調設備へ更新しています。また原単位の改善としては、生産設備の高効率稼働や不良率低減対策にも取り組んでいます。

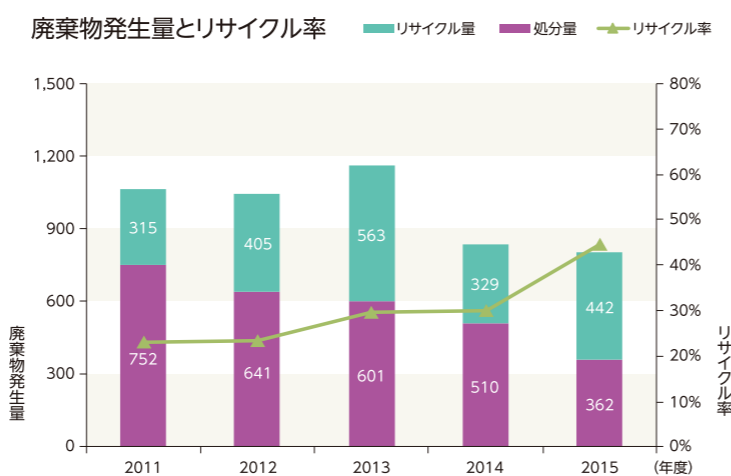
本社ビルなどの非生産拠点においては、照明設備をLED照明へ全面切り替えを行い、省エネルギー/CO₂排出量の削減に取り組んでいます。



廃棄物の削減・資源のリサイクル

大真空グループは、廃棄物の埋め立て・焼却処分量の削減と、廃棄物の発生量そのものを抑える活動に取り組んでいます。廃棄物発生量は2013年度に一時増えましたが、2009年度以降、減少傾向になっています。

当社で発生する廃棄物の約8割は污泥が占めています。生産工程の改善に伴う薬品使用量の削減や、排水処理施設の改造・処理フローの見直しにより污泥の発生を抑制する活動に取り組んでいます。また、最終埋め立て処分していた污泥のリサイクル化を進め、廃棄物の削減活動を実施しています。



PCB廃棄物の適正管理

PCB(ポリ塩化ビフェニル)は生体に対する毒性が強く、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により、2027年3月31日までに適正に処理を行うことが義務付けられています。

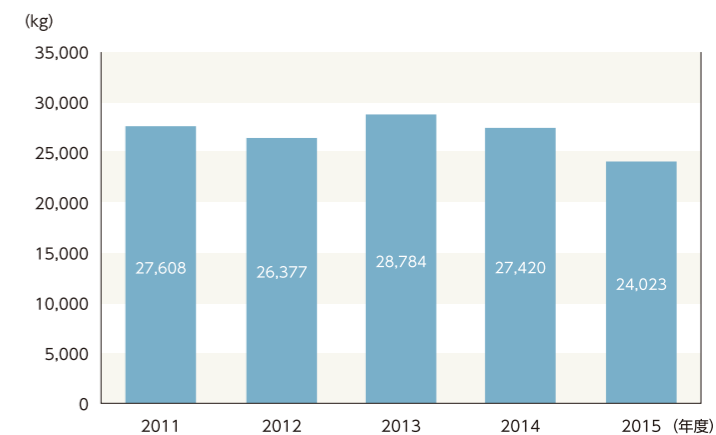
大真空グループでは、2010年10月に日本環境安全事業(株)での適正処理が完了しました。微量PCB汚染廃電気機器などは社内に保管している物があるため、適正管理と早期処理に努めてまいります。

PRTR法対象化学物質の管理

大真空グループでは、PRTR法で指定された化学物質の取扱い量を把握し、法律に基づく届出を行っています。2008年11月の法改正に伴い、2010年度より対象物質が変更されました。354物質から462物質に増加されたことに伴い、対象化学物質取扱い量も増加しています。

PRTR法
 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
 化学物質を取り扱う事業者は化学物質の排出量・移動量などの届出を義務付ける制度

PRTR対象化学物質取扱い量



廃棄物のリスク管理

当社の事業活動に伴い排出される産業廃棄物は社外の処理業者に委託しています。産業廃棄物の処理における排出事業者の責任は重要であり、当社では廃棄物の処理・管理のルールを定め、処理委託先の監視を行っています。

処理委託する際には、事前に現地パトロールを行い、また処理委託後も毎年現地パトロールを実施しています。

トピックス

省エネルギー活動の推進

鳥取事業所では、生産活動に必要な温水の供給元に温水ボイラーを使用していましたが、老朽化によるトラブル回避のため、熱交換器に置き換えました。温水ボイラーではA重油を約950kl/年使用していましたが、熱交換器では約760kl/年と約20%削減することができ、エネルギー使用量では約190kl/年の削減、CO₂排出量では約500kg/CO₂の削減となりました。加えて、温水ボイラー廃止に伴い蒸気ボイラーが常時稼働となり、間欠稼働時に比べ余分な熱の排出が減りました。

また、熱交換器では温水設定温度に制限がなく、生産実態に追従できるメリットもあります。老朽化による設備トラブルのリスク低減にもなり、安定した生産活動にも寄与できる改善となりました。

変更前

温水ボイラー



変更後

プレート式熱交換器



製品における環境配慮

当社の製品は、スマートフォンやタブレットPCなどの情報通信機器や、AV機器、カーエレクトロニクスなど、私たちの生活に身近な電子機器に使われています。製品の設計・開発段階において、「省電力化」、「小型化」、「化学物質の適正管理」をキーワードに、環境に配慮した製品を提供することに努めています。

環境配慮型設計について

省電力化

当社製品の消費電力を小さくすることで、これらがパソコンやスマートフォンをはじめとする電子機器を使用する際の消費電力を減少させることができ、CO₂排出量の削減に寄与しています。

小型化

当社製品の小型化によって、構成する資源の使用量を削減することができ、また当社の製品を搭載する基板の省スペース化にも繋がり、サプライチェーン全体で資源の削減に貢献しています。

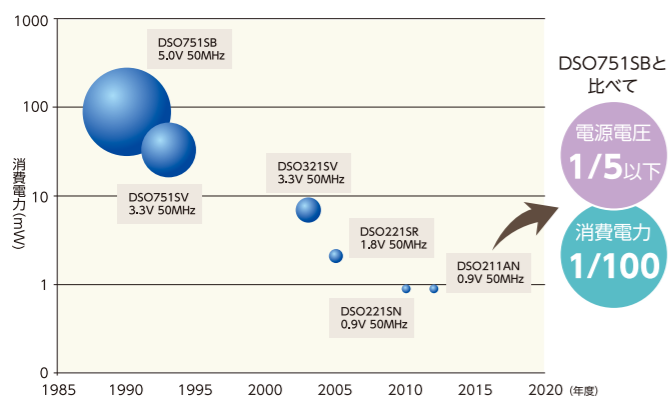
また、小型化することで、重量も軽くなり、製品の輸送時に排出されるCO₂排出量の削減にも繋がります。

化学物質の適正管理

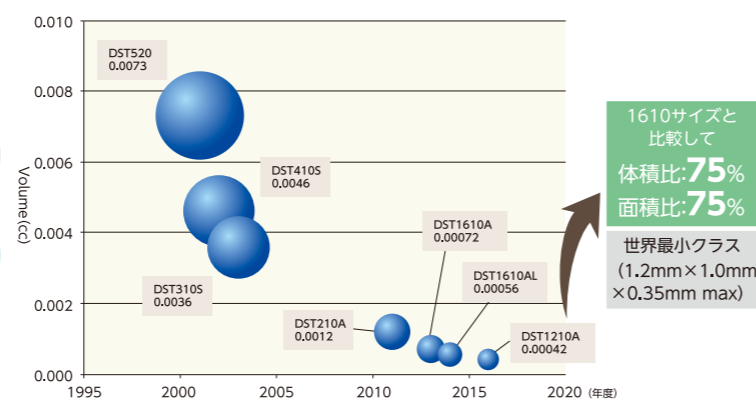
製品の設計・開発段階で環境への影響に対して検証を行い、製品を構成する部材に環境負荷物質が使用されていないことを、お取引先様から入手する化学物質情報で確認しています。

また、製品設計段階はもちろん、量産品においても定期的にXRF分析装置を用いて環境負荷物質の含有有無を確認し、有害物質の流出を防止しています。

低消費電力化の変遷



小型化のトレンド(音叉型水晶振動子)



水 晶発振器の開発にあたって

技術部 技術課 花木 哲也

製品の設計・開発段階において、「省電力化」、「小型化」を通じて環境に配慮した製品を提供することに努めています。水晶発振器における内部回路の低電圧化および、それに伴う水晶設計の最適化を図ることにより、電源電圧と消費電力の低減を達成しました。DSO7515BとDSO211ANを比べると、電源電圧は5Vから0.9V(約1/5以下)、消費電力は90mWから0.9mW(1/100以下)になりました。その結果、特にパソコンやスマートフォンなどのバッテリー駆動の電子機器の省電力化に貢献しています。

「小型化」については、水晶の小型設計の確立および製造プロセスにおける高精度化を図ることにより、2016サイズと比較して体積比:約40%、面積比:約60%となる1612サイズを実現しました。さらなる小型化、薄型化に取り組むことで省資源化を図るとともに、モバイル機器などの小型化、薄型化に貢献してまいります。



株主・投資家のみなさまへ

コーポレートガバナンスの強化や適時・適切な情報開示などにより、株主・投資家のみなさまとのコミュニケーション体制向上に努めています。

株主・投資家のみなさまとのコミュニケーション

機関投資家や証券アナリストのみなさまに、当社グループの経営成績や経営方針・事業戦略を共有いただきたく、東京と大阪で年2回の決算説明会を開催しています。また、個別取材にも積極的に対応し、継続的なコミュニケーションを図っています。

なお、決算説明会資料やFACT BOOKなどの財務資料はホームページ(URL: <http://www.kds.info/investors/financial-library/>)よりご確認いただけます。

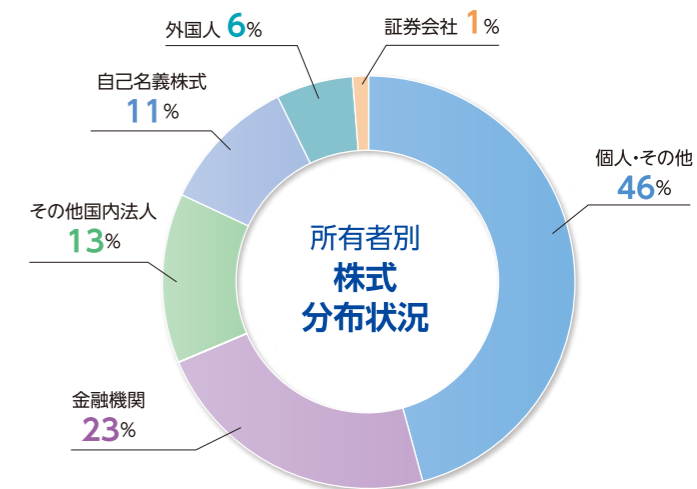
配当政策

当社では会社競争力の維持のため、企業体質の強化などを総合的に勘案しながら、株主のみなさまに対して利益還元として安定的な配当を継続することが重要な基本方針と考えています。

株式の状況

2016年10月1日付で株式併合(5株を1株に併合)および単元株式数の変更(1,000株を100株に変更)を行いました。2016年10月1日現在の発行済株式の総数、単元株式数は以下の通りです。

発行済株式の総数:9,049,242株
単元株式数:100株



社員の声

株主総会に携わって

総務課 佐藤 征史

当社は、株主総会を株主のみなさまとの建設的な対話の場であることを認識し、株主の視点で株主総会における権利行使に係る適切な環境の整備に努めています。例えば、招集通知を株主総会開催日の約3週間前に早期発送し、株主総会議案について議決権を適切に行使していただけるよう取り組んでいます。

株主総会において、会社法が全面適用された2007年から実務を担当しており、商法から会社法への転換、会社法の改正、上場規則の改正など、様々な変更点に対応してきました。今後も「正確かつ迅速」をモットーに全力で対応してまいります。



地域社会との かかわり

社会貢献活動や
コミュニケーション活動を通じて
地域社会と信頼の絆を深め、
これからもみなさまに愛される企業を目指します。

インターンシップの取り組みについて

鳥取事業所 青木 嘉人



鳥取事業所では2008年より鳥取県立鳥取工業高校のインターンシップの受け入れを毎年行っています。例年7月初旬に2~5名の3年生を受け入れていましたが、進路を決めるにあたり、早い段階での経験が大切であるとの観点から運用の見直しが行われ、2011年からは9月初旬に2年生を受け入れています。

大切な生徒の皆さんをお預かりする以上、安全面を最優先に、無事実習を終えることを常に考えています。各企業で最先端のものづくりに触れ、仕事観や人生観を高められる貴重な体験として単位取得に盛り込まれていますが、普段の授業とは異なり実際に「仕事」をしていただくので、健康状態などの様子を日々確認することは勿論ですが、厳しさの中にも優しさを持って接するよう心がけています。

生徒の皆さんと話をしていると、見直しが必要な部分が見えてくるなど当事業所にとっても非常に貴重な機会をいただいていると感じています。今後も地域社会への貢献だけでなく、鳥取事業所としてCSR活動を積極的に進めてまいります。



「レッツ・グリーン」に参加

徳島事業所 門上 正見



徳島事業所がある吉野川市では、環境基本計画の一環として、毎年地域の清掃美化活動「レッツ・グリーン」が開催され、統一実施日(毎年5月第二日曜日)に市内全域で多数の市民、団体、事業所が参加し、地域の大掃除が行われます。参加者は、公園、駅などの公共施設や道路、河川敷などで空き缶、ビン、ペットボトルなどのポイ捨てごみを収集し、自分達の住む街をきれいにします。2015年度は121団体、約3,600人が参加し、なんと2トングンプカー10台分のごみを集めました。

当日は快晴に恵まれ、徳島事業所からは30名が参加し、市職員2名の方々とともに市内の大型ショッピングセンターから吉野川高校までと、鴨の湯温泉施設までの南北約2kmの道路の清掃を行いました。二手に分かれ、朝8時開始、9時終了という短時間ではありましたが、ごみ袋30袋分のごみが収集されました。この道路は、市道としての生活道路であり、ご近所の方々が毎日利用されている道路です。地域の道路なので、普段からゴミも少ないだろうと思っていましたが、多くのポイ捨てごみが集まったことに驚いています。

徳島事業所は、毎年2回の事業所周辺のクリーン作戦(清掃美化活動)を2000年より継続して実施してきました。設立30年が経過し、より地域貢献できる事業所であり続けたいという思いから、今後もクリーン作戦に加えて、地域行政の環境活動にも積極的に参加してまいります。



「理想擁抱」に参加

加高電子股份有限公司 陳 菁徽



加高電子股份有限公司は2016年5月に台北の花博公園で行われた「理想擁抱」というチャリティーイベントに参加しました。今回で4回目の開催となっており、チャリティーで集まった収益は助けを必要としている子供達の医療費や支援施設の資金として役立てられています。

当社としては初参加となるチャリティーですが、会場には80社以上の企業のブースが立ち並び、特設ステージでは催しが開催されるなど、会場の活気に驚きました。当社からは20名が参加し、お菓子を販売しました。途中売り切れてしまうお菓子もあり、終日賑わっていました。ブースでは単なるお菓子の販売に留まらず、訪れていただいたたくさんの方々とのコミュニケーションを深められ、みなさまとの「距離」が縮まったように感じました。

加高電子股份有限公司は年に数回このようなイベントに参加するとともに、自社工場でも積極的にチャリティーを主催しています。今後も引き続きこのような活動を通して地域社会に貢献していきたいと思えます。



「第8回サイエンスフェアin兵庫」に出展

広報課 前川 陽祐



2016年1月、神戸市で8回目となる「サイエンスフェアin兵庫」が開催されました。サイエンスフェアは、科学技術分野における研究や実践の拡大・充実・活性化などを目的に、兵庫県の高校生が集まり発表を行うイベントです。開催当初は高校生のみのイベントでしたが、現在では企業や大学、研究機関も事業内容や研究内容の展示が可能であり、多数の団体が参加しています。

イベントでは高校生の発表が先に行われましたが、白熱した討論が会場のいたる所で交わされており、斬新な着眼点に基づくユニークな発表内容が多くあり、非常に興味深いものでした。当社の出展は昨年を引き続き2回目で、ブースにはパネルや人工水晶、製品サンプルをはじめ、水晶の特性を説明するためのデモを用意しました。前回同様、たくさんの方々にブースへ足を運んでいただきましたが、製品サイズの小ささや、使用されている水晶の薄さ、「水晶というと宝石のイメージが強いが、身の回りには多くの電子機器に使用されている」ということを知って驚かされていました。

実際に製品を見ていただく貴重な機会であり、様々なご意見・ご質問もいただけるなど非常に充実した時間となりました。今回のイベントのようにみなさまとのコミュニケーションの機会を大切にしていきたいと思えます。



株式会社 大真空

